

令和3年3月9日

保護者様

松戸市立六実小学校
校長 佐藤 幸男

学校評価のまとめについて（お知らせ）

浅春の候、保護者の皆様におかれましては益々、ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素より本校教育活動に対しまして、ご理解とご支援を頂き深く感謝申し上げます。さて、今年度実施の学校評価がまとまりましたので、下記の通りお知らせいたします。学校評価は、保護者の皆様と学校がともに子ども達をよりよく育むためのツールです。保護者の皆様や地域の皆様とも連携して、今後も教育活動を推進いたします。どうぞよろしく申し上げます。なお、集計結果のグラフにつきましては、別紙をご覧ください。

期

（こどもアンケートの結果：回答数 427名）

おおむね前年と同様の結果となっております。前年比で変化のある項目は、「①学校にくるのは楽しいですか」の項目が、「とてもたのしい」「たのしい」の項目において向上が見られました。掃除や勉強、友達についてもプラス面の回答をしている傾向にあり、今後も継続して指導していきます。

課題については、家庭学習をしていない児童の割合が4%あります。基礎基本の学力の定着のために、学習習慣の確立に向けて学校と家庭が連携して協力する必要があると考えています。

（保護者アンケートの結果：回答数 407名）

前年度と比較して、前年同様の質問については、「そう思う」「ややそう思う」の回答の割合が上昇している項目は、「②お子さまは目標を持って学校生活を送っていると思いますか」「⑤お子さまは、言葉づかいや身だしなみはしっかりとしていると思いかすか」「⑩お子様は健康に気をつけていますか」について肯定的な評価が増加しております。コロナ禍の中、感染症対策に留意した本校の教育活動にご理解をいただいていると考えております。また、⑭のいじめについての項目でも、毎月の生活アンケートの結果から、職員が細かく聞き取りを実施しており、大きなトラブルになる前に大人が介入でき、肯定的な評価につながっているととらえております。

しかし、個別のご意見を拝見すると、もっとよい取り組みがあったのではと反省するご意見もありました。担任だけでなく、組織として取り組むいじめ解決を強化していき

ます。また感染症対策で学校行事、児童会、委員会、部活動については、実施ができないものがあり、保護者の参観の機会が大幅に減少したため、「わからない」の回答が増加しました。学校での様々な活動については、今後の参観の機会や学校ホームページ、動画配信などで学校の様子を伝える機会を増やしていきます。

最後に、㉑の地域に根差した取り組みについても、肯定的な評価をしていただいております。地域の皆様、スクールガードや六実地区井戸端会議の皆様など、たくさんの方々に支えられて、このような評価になっていると考えております。

(職員アンケートの結果：回答数 31名)

保護者の方と同様に、感染症対策で学校行事、児童会、委員会、部活動については、予定通り実施ができないものがあり、「わからない」または否定的な回答が増加しました。感染症対策に留意しながら、次年度の計画を検討していきます。

また、あいさつや環境美化、児童が意欲的に取り組む授業づくりについては、肯定的な評価が多く、次年度も継続して取り組みを実施します。

(学校評議員の方々からの評価)

本アンケートの集計結果を、学校評議員の方々に示して、六実小学校の学校評価についてご説明しました。今年度の学校教育について、落ち着いた教育活動が展開できていることに、おおむね肯定的な評価をいただきました。学校評議員の方々のご感想は次の通りです。

- ・コロナ禍で実施できない事が多い中、子供たちが学校にくるのが楽しいと思う割合が多いのはよい。
- ・いじめの対応について、今後も適切に対応して欲しい。深刻な問題になる前に、人間関係等、先生達がケースバイケースで対応して欲しい。
- ・放課後の児童の居場所について、学童や放課後キッズルーム以外の提供状況はどのようなものがあるか。地域でも放課後の児童の居場所の提供を検討している。
- ・英語学習が以前よりも充実している。1年生から外国語活動に取り組んでいるのがよい。
- ・あいさつがしっかりできている。
- ・今年度の全国学力学習状況調査について(今年度はコロナ禍で未実施)
- ・児童虐待の実態について、引き続き学校に適切に対応して欲しい。
- ・今後もマスクの着用を徹底して欲しい。登下校時にマスク未着用の児童がいるため。

現在、学校評議員の方を、学校に定期的にお招きし、学校の様子をみていただいております。今後は、より日常の学習の場をみていただき、学校評価にかかわっていただく必要があると考えます。